



緑の風



令和6年10月4日
No. 24

全国学力・学習状況調査 パート1

4月に行われた6年生の調査結果が公表され、学校にもその詳細が届きました。

この調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象に行われ、子どもたちの学習状況を把握・分析し、学校教育の充実や学習状況の改善等に役立てるために行われるものです。今回は、5年生までに学習した内容がどの程度身に付いているか、「教科の学力」について結果をお知らせします。

今年度の調査は、国語・算数でした。

平均正答率をみると、**国語、算数ともに県平均、全国平均を大きく上回る**結果となりました。昨年度の本校の正答率と比較すると**国語で8ポイント、算数で11ポイントほど上回っており**、学習の定着が図られていることが分かります。

各教科の分析は次のとおりです。



【国語】

○県平均より10ポイント以上上回っている問題が14問中4問。そのうち全員正解した問題が1問ある。全員正解の問題が「読書の記録」を読んで、当てはまる振り返りを選ぶ問題であり、日頃から読書に取り組んでいることが正解につながっていることが分かる。



【算数】

○県平均より10ポイント以上上回っている問題が16問中6問。そのうち全員が正解した問題が2問ある。正答率の高かった16問のうち、知識・技能を問う問題が5問あり、基礎の定着が確実に計られていることが分かる。



【共通の課題】



●県平均を大きく下回った問題はなかったが、わずかに下回った問題を見ると、条件が二つ示されているうち、一つしか満たしていないための誤答が見られた。



★課題への対応策として、次のことに取り組むこととしています。

【国語】

- ・事実と感想、意見を区別して書くなど伝わりやすい表現となっているか、子ども達どうして読み合う活動を行う。
- ・主語と文末表現を意識した正しい文章となっているか、個別に指導する。

【算数】

- ・問題文にアンダーラインを引いたり、図に表したりして、問題を解く際の見通しをもつことができるよう指導する。
- ・問題を解いた後、問題場面と答えを比べ、答えが妥当かどうか判断できるよう指導する。

【共通の取組】

- ・その学年で身に付ける力の着実な定着を図る。
- ・デジタルドリルの活用で、前学年の復習や解き進めの学習を行う。

学習したことの定着には、家庭での学習が欠かせません。

引き続き、子ども達の一人勉強への励ましとコメントをどうぞよろしく
お願いいたします。



『あいさつ名人』PART2



9月26日（木）に行った小中合同のあいさつ運動で、中学生と地域の皆さんからの推薦により、次の子ども達が新たに「あいさつ名人」に選ばれました。

お家の人達へはもちろん、友達や先生、地域の人達に、自分から進んで元気にあいさつできる子どもの育成めざして、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

「あいさつ名人」

1年
2年
4年
5年
6年



地域の方々からの声

- ・自ら大きな声であいさつをしてくれました。元気ももらいました。
- ・笑顔のあいさつがすてきです。

持久走がんばろうの会 9/26(水)

10月28日（月）に行われる持久走記録会に向け、運動委員会主催の「持久走がんばろうの会」が開かれました。一人一人、目標をもって、毎日の走りっこに取り組んでいます。ご家庭での励ましをよろしくお願いいたします。

* 学校事情により、開催日を10月30日から10月28日に変更したことを深くお詫申し上げます。

